

西尾市事務評価シート

事務No.	26-002	事務内容	(一社)西尾市観光協会組織運営全般に関すること				
総合計画施策コード	111	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	02目	大事業	05	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	(一社)西尾市観光協会支援事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	観光PR
事務の対象 (誰(何)のために)	観光客、市民
事務の概要 (具体的に何を)	西尾市の観光PR業務に対する支援

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	53,324,575円	53,267,000円	52,084,000円	
人工	0.2人	0.2人	0.2人	
人件費②	1,414,597円	1,420,922円	1,437,982円	
総事務費③(①+②)	54,739,172円	54,687,922円	53,521,982円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	54,739,172円	54,687,922円	53,521,982円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-51,250円	H29 総事務費③の対前年度比率	-0.09%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	

●事業の終期

事務No. 26-002

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由			

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価		
	妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか		3	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか
ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		3	事務時間は適切なものになっているか	3		
課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		3	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4		
有効性		事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3
		事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	4
		事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4
評価の総合的なコメント	DMO法人申請中であり、自立にはまだまだ時間がかかるため引き続き支援が必要である。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	今後は自主事業をブラッシュアップしていき自立性を高めていく				
民間委託又は市民協働拡大の方向性						
事務全体の課題	自立ができる事業をいかに行えるかが課題					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	ほぼ協会の事業は市が財政的に負担をしている。
---------------	------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成するための目標を明確にし、限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	26-005	事務内容	抹茶スイーツ選手権に関すること				
総合計画施策コード	121	事務開始年度	平成26年度		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	02目	大事業	05	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	(一社) 西尾市観光協会支援事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	「西尾の抹茶」の普及を目的に、将来のパティシエとなる高校生を対象に抹茶スイーツ選手権を開催する。
事務の対象 (誰(何)のために)	西尾の抹茶関連事業者
事務の概要 (具体的に何を)	抹茶スイーツ選手権の運営(チラシ・ポスターの作成、作品の募集、書類審査及び実技審査の実施、表彰等)

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	0円	0円	0円	
人工	0.2人	0.2人	0.2人	
人件費②	1,414,597円	1,420,922円	1,437,982円	
総事務費③(①+②)	1,414,597円	1,420,922円	1,437,982円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	1,414,597円	1,420,922円	
	その他()	0円	0円	
H29 総事務費③の対前年度差額	6,325円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.45%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	参加チーム数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		128 組		112 組		59 組	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		11,052円		12,687円		24,373円	

●事業の終期

事務No. 26-005

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成30年度
事務の終了時期が未定の場合の理由	当初に終了時期を計画していないため		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価	
	妥当性	市が実施することが適当であるか		1	効率性
評価	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3	公平性	事務時間は適切なものになっているか	1
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	1
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	2		受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	2
評価	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2	公平性	受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	2
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	2		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	
評価の総合的なコメント		主催は西尾市観光協会であるが、実務は市が担っている。将来への投資の側面があるが、事業費がかかる。			
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。			
	(理由)	抹茶スイーツ選手権の開催は別として、主催である西尾市観光協会が実務を担うべきであるため、市としては事務事業としては廃止していくべき。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	民間委託の可能性は有り。				
事務全体の課題	西尾市観光協会の事業実施できる体制があるか。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	平成27年度に津島市において津島の”和”スイーツアイデアコンテストを実施された。津島市においてもそれ以降の開催は無い。
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	西尾市観光協会へ単独での事業実施を打診し、その結果に関わらず、市の事務事業としては廃止する。
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	改善案のとおり、観光協会との調整を進めていただきたい。
----------	-----------------------------

西尾市事務評価シート

事務No.	26-007	事務内容	マスコットキャラクターに関すること（まーちゃ貸し出し）				
総合計画施策コード	111	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	02目	大事業	05	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	(一社) 西尾市観光協会支援事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	キャラクターを通じて、子どもから大人まで幅広い年齢層に、本市や抹茶への興味を持ってもらえるようPRするため
事務の対象 (誰(何)のために)	・観光客 ・市民
事務の概要 (具体的に何を)	着ぐるみの貸出し（借用申請受付、当日貸出）、保管

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	0円	0円	0円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	707,298円	710,461円	718,991円	
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	707,298円	710,461円	
	その他()	0円	0円	
H29 総事務費③の対前年度差額	3,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.45%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	

●事業の終期

事務No. 26-007

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	なし
事務の終了時期が未定の場合の理由	西尾市観光協会の事務のため		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価	
	妥当性	有効性		効率性	公平性		
評価	妥当性	市が実施することが適当であるか	2	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	妥当性	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3	効率性	事務時間は適切なものになっているか	2	
		課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	2	
	有効性	有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公平性	受益者に偏りはなく、また、受益者負担の割合は適切か	4
			事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めている状況は適切か	4
		事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	0	サービスの提供方法に公平性を欠いていないか		4	
評価の総合的なコメント		西尾市観光協会の事務であり、貸出業務以外の事務は西尾市観光協会に既に移行している。今後は貸出業務も移行する可能性もある。					
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。					
	(理由)	借用申請の最終決定などの事務処理は西尾市観光協会に移行済					
民間委託又は市民協働拡大の方向性							
事務全体の課題							

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	貸出業務を含めた事務の移行を検討いただきたい。
----------	-------------------------

西尾市事務評価シート

事務No.	26-017	事務内容	三河一色みなとまつり（大使・ブランド普及）に関すること				
総合計画施策コード	122	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	02目	大事業	06	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	特産品振興事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	全国に誇る「うなぎ」「えびせんべい」「カーネーション」「アサリ」などの特産品を広くPRし、地元産業の発展につなげるため。
事務の対象 (誰(何)のために)	特産品生産者のため
事務の概要 (具体的に何を)	三河一色みなとまつり実行委員会の運営補助

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	4,800,000円	4,560,000円	4,560,000円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	5,507,298円	5,270,461円	5,278,991円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	5,507,298円	5,270,461円	5,278,991円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-236,837円	H29 総事務費③の対前年度比率	-4.30%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	実行委員会への開催業務委託	4,560,000円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	三河一色みなとまつり来場者数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		32,000 人		35,000 人		31,000 人	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
		172円		151円		170円	

●事業の終期

事務No. 26-017

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	事業開始当初に設定されていないため		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	スコア		内容	スコア	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	3	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	2	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	3		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	2	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	2	
評価の総合的なコメント	委託している開催業務については、実行委員会でしっかりやっていただいている。委託金額にかかる負担割合については、合併前より大きく変えていない。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	市内でも同様のイベントが開催されており、市全体でイベントの見直しなど検討が必要と考える。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	実行委員会に既に委託している。事業費も含めてすべてを委託することは厳しいと考える。					
事務全体の課題	誘客促進に向けての検討					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成するための目標を明確にし、市全体を考えたイベントの見直しを考えるなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	26-021	事務内容	平原の滝開きに関すること				
総合計画施策コード	111	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	02目	大事業	03	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	観光行事開催事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	ウォーキングコースとして有名な平原の滝に誘客をはかり、観光振興を図るため
事務の対象 (誰(何)のために)	市内外の観光客
事務の概要 (具体的に何を)	平原町町内会と委託契約を結ぶ。平原町内会と連絡調整を行う。平原の滝開き行事に参加する。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費 ①	262,000円	240,000円	0円
人工	0.0人	0.0人	0.0人
人件費 ②	0円	0円	0円
総事務費③(①+②)	262,000円	240,000円	0円
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	262,000円	240,000円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-22,000円	H29 総事務費③の対前年度比率	-8.40%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	委託料	平原の滝開き行事の開催業務	240,000円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	行事開催回数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		1 回		1 回		1 回	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	参加者数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		550 人		500 人		0 人	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度	平成29年度		平成30年度			
	262,000円	240,000円		0円			

●事業の終期

事務No. 26-021

事務の終了時期	平成29年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価	
	妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	0	効率性 公平性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか
ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		0	事務時間は適切なものになっているか		0
課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		0	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか		0
事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか		0	公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	
事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		0		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	
事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		0		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	
評価の総合的なコメント	平成29年度をもって事業を廃止したため、評価できない。				
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。			
	(理由)	平原の滝への誘客がはかられ、ウォーキングコースとしての認知度が上昇したため、平成29年度をもって事業を廃止した。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性					
事務全体の課題					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成した事務を廃止することは評価できます。
----------	--------------------------

西尾市事務評価シート

事務No.	26-025	事務内容	米津の川まつりに関すること				
総合計画施策コード	111	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	02目	大事業	03	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	観光行事開催事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	観光PR
事務の対象 (誰(何)のために)	観光客
事務の概要 (具体的に何を)	イベント開催の補助、道路使用申請

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費 ①	4,056,000円	4,180,000円	3,850,000円
人 工	0.2人	0.2人	0.2人
人 件 費 ②	1,414,597円	1,420,922円	1,437,982円
総事務費③(①+②)	5,470,597円	5,600,922円	5,287,982円
総 財 源 内 費 の 内 訳 ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	5,470,597円	5,600,922円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	130,325円	H29 総事務費③の対前年度比率	2.38%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額
	委託料	イベント開催費委託料一式	3,850,000円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	来場者数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		人	70,000	人	58,000	人	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
			80円		91円		

●事業の終期

事務No. 26-025

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	西尾市北部発展会が主催であり、市のかかわり方、方向性の時期も具体的に市単独では決定できない。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	スコア		内容	スコア	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	3	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	2	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
	有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4
		事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4
		事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	0		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3
評価の総合的なコメント		長年開催されているイベントでもあり引き続き支援をしていく。				
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	委託ではなく、補助金にて支援をしていく。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	民間の主催である。					
事務全体の課題	来場者の安全を確保するために警備などの費用が年々増加している。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	主催者が各市まちまちであり、市の関わり方もさまざまである。
---------------	-------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成するための目標を明確にし、限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	26-027	事務内容	秋祭り全般に関すること				
総合計画施策コード	111	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	02目	大事業	04	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	観光宣伝事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市内各地域で行われる伝統の秋まつりを市内外の人にPRするため。
事務の対象 (誰(何)のために)	まつり開催地区の市民、市外の観光客
事務の概要 (具体的に何を)	PRポスターの作成

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費①	0円	20,000円	19,245円
人工	0.1人	0.1人	0.1人
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円
総事務費③(①+②)	707,298円	730,461円	738,236円
財源内訳③ の	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	707,298円	730,461円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	23,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	3.27%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	ポスター刷り込み	330枚×54円×1.08	19,425円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		

●事業の終期

事務No. 26-027

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成31年度
事務の終了時期が未定の場合の理由	所管換えを検討しているため、該当課と話し合いが必要である。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	3	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはなく、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	2		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	秋まつりについて、現在2つの課が各々事務を行っているが、問合せや地元団体との連絡を考慮すると、窓口は一本化した方が良く考える。					
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。				
	(理由)	ポスター作成が集客に関して有効であるのか疑問があるため、当課としての事業は縮小または廃止を考える。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	市民協働拡大または課の所管換えを検討している。					
事務全体の課題						

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	関係課及び関係団体間で調整し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	--

西尾市事務評価シート

事務No.	26-028	事務内容	かぼちゃサミットに関すること				
総合計画施策コード	111	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	02目	大事業	03	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	観光行事開催事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	西尾市の知名度上昇のために誘客をはかり、幡豆地区の観光振興を狙うため。
事務の対象 (誰(何)のために)	市内外の観光客。
事務の概要 (具体的に何を)	かぼちゃサミット表彰式の事務運営。かぼちゃサミット物産展準備。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費①	80,000円	80,000円	200,000円
人工	0.1人	0.1人	0.1人
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円
総事務費③(①+②)	787,298円	790,461円	918,991円
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	787,298円	790,461円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	3,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.40%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	委託費	行事開催委託	80,000円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	行事開催回数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		1 回		1 回		1 回	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	参加者数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		10,000 人		10,000 人		10,000 人	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度	平成29年度		平成30年度			
	787,298円	790,461円		918,991円			

●事業の終期

事務No. 26-028

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由			

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価	評価項目	評価
	評価		評価
妥当性	2	市が実施することが適当であるか	4
	3	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3
	2	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	3
有効性	3	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	2
	3	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3
	3	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3
評価の総合的なコメント	有効性、効率性が比較的高い。		
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。	
	(理由)	市民協働の方向を検討していき、西尾市の事業としては廃止を検討する。	
民間委託又は市民協働拡大の方向性	市民協働の拡大を検討する。		
事務全体の課題			

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	市民協働を拡大するために話し合いを行っていく。
--------	-------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	上記改善案を進め、事務の廃止を検討してください。
----------	--------------------------

西尾市事務評価シート

事務No.	26-029	事務内容	てんてこ祭に関すること				
総合計画施策コード	111	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	02目	大事業	04	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	観光宣伝事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	西尾市の知名度上昇のために誘客を促進し、観光振興をはかるため。
事務の対象 (誰(何)のために)	市内外の観光客
事務の概要 (具体的に何を)	地元との調整。PRポスターの作成、発送。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	0円	0円	0円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	707,298円	710,461円	718,991円	
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	707,298円	710,461円	
	その他()	0円	0円	
H29 総事務費③の対前年度差額	3,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.45%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	行事開催回数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		1 回		1 回		1 回	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	参加者数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		3,000 人		3,000 人		3,000 人	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		707,298円		710,461円		718,991円	

●事業の終期

事務No. 26-029

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由			

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	スコア		内容	スコア	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	2	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	2	
	有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	2
		事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	2
		事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	2		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	2
評価の総合的なコメント		事務の効率性はほぼ問題無いと考えるが、妥当性や有効性は疑問が残る。				
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	今後もポスター作成等によりPRしていくことの有効性等に疑問が残るため縮小又は統合していくべきと考える。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	民間委託又は市民協働拡大の可能性有り。					
事務全体の課題						

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	市民協働の拡大を検討する。
--------	---------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成するための市の方針(市が実施(委託)or応援(補助))を明確にし、目標を掲げ、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	26-033	事務内容	きらまつりに関すること				
総合計画施策コード	111	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	02目	大事業	03	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	観光行事開催事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	地域の特産品を広くPRし、地域の幅広い産業に経済波及効果をもたらす。
事務の対象 (誰(何)のために)	市内の農林水産業、食料品産業、小売業、宿泊業、飲食店業、地域住民など
事務の概要 (具体的に何を)	地域で実施している行事に対して委託料を支払い、地元実行員会と協力し、事前準備、当日の運営を行っている。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	5,000,000円	4,750,000円	4,750,000円	
人工	0.2人	0.2人	0.2人	
人件費②	1,414,597円	1,420,922円	1,437,982円	
総事務費③(①+②)	6,414,597円	6,170,922円	6,187,982円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	6,414,597円	6,170,922円	6,187,982円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-243,675円	H29 総事務費③の対前年度比率	-3.80%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	実行委員会への開催業務委託	4,750,000円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	行事開催回数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		1回		1回		1回	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	来場者数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		52,000人		50,000人		50,000人	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度	平成29年度		平成30年度			
	6,414,597円	6,170,922円		6,187,982円			

●事業の終期

事務No. 26-033

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	事業開始当初に設定されていないため		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	2	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	3		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	2	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	まったり自体の全事業費の内、委託料の占める割合は約30%で、残りは実行委員会による協賛金集めや出展料で賄っており、自助努力を行っている。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	市内全体で同様のイベントを行っているので、統合又は持ち回り等を検討していく必要があると考える。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	実行委員会組織があり、民間主導で運営しているが、地域単独で行事を行っていくことは難しいと考える。					
事務全体の課題	来場者の安全を確保するために警備などの費用が年々増加している。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	主催者が各市まちまちであり、市の関わり方も様々である。
---------------	-----------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成するための市の方針(市が実施(委託)or応援(補助))を明確にし、目標を掲げ、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	26-035	事務内容	恵比寿海岸初日の出に関すること				
総合計画施策コード	111	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	02目	大事業	03	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	観光行事開催事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	風光明媚な吉良の海岸をPRするため
事務の対象 (誰(何)のために)	吉良町宮崎地区の観光産業に携わる方
事務の概要 (具体的に何を)	吉良・幡豆まちづくり協議会主催で行っているため、初日の出の激励に行っている。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	0円	0円	0円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	707,298円	710,461円	718,991円	
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	707,298円	710,461円	
	その他()	0円	0円	
H29 総事務費③の対前年度差額	3,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.45%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	行事開催回数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		1 回		1 回		1 回	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	来客者数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		1,000 人		1,000 人		1,000 人	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		707,298円		710,461円		718,991円	

●事業の終期

事務No. 26-035

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	事業を存続するか廃止するか協議会及び地域と協議する必要があるため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	3	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	3		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント	市は当日の人的支援のみであり、人件費以外は支出していない。					
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。				
	(理由)	今後事業を行うか協議会及び地域と協議する必要がある。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	吉良・幡豆まちづくり協議会が主催で行っている。					
事務全体の課題	今後事業を行うか協議会及び地域と協議する必要がある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	市が特に関わっていない。
---------------	--------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---------------------------

西尾市事務評価シート

事務No.	26-038	事務内容	文化遺産活性化補助金（観光ボランティアガイド関連）				
総合計画施策コード	111		事務開始年度	平成26年度		担当課名	商工観光課
予算科目	07款	01項	01目	大事業	01		
事務事業名 (中事業名)	人件費 (一般職員 (1 0 人))						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	西尾市の観光ボランティアガイドを育成し、観光客の満足度の向上をはかるため。
事務の対象 (誰(何)のために)	市内外の観光客
事務の概要 (具体的に何を)	補助金の申請を行い、補助金によって観光ボランティアガイドを育成する講座「おもてなし大学」を開講する。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費 ①	0円	0円	0円	
人 工	0.1人	0.1人	0.1人	
人 件 費 ②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	707,298円	710,461円	718,991円	
総 財 源 内 費 の 内 訳 ③	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	707,298円	710,461円	
	その他()	0円	0円	
H29 総事務費③の対前年度差額	3,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.45%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項 目	概 要		金 額
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)					
	具体的な指標	講座開催回数				
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)
		12 回		10 回		14 回
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)					
	具体的な指標	観光ガイド「おもてなし隊」隊員数				
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)
		25 人		5 人		
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度
		58,942円		71,046円		51,356円

●事業の終期

事務No. 26-038

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成32年度
事務の終了時期が未定の場合の理由	事務の見直しの際に事務の終了時期についても検討するため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	2	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	2	
	課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	2	公 平 性	受益者に偏りはなく、また、受益者負担の割合は適切か	2	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	2	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	妥当性について検討の余地がある。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	観光講座の受講希望者も減少傾向にあり、事業目的をある程度達成したと考える。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	市民協働の拡大の可能性有り。					
事務全体の課題						

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	市民協働の拡大を検討する。
--------	---------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	事務開始時に事務終了時期を設定し、計画的に事務を進め、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	--

西尾市事務評価シート

事務No.	26-040	事務内容	観光関係委託業務契約				
総合計画施策コード	111	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	02目	大事業	03	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	観光行事開催事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	産業振興のために誘客を図り、地元産業の振興を図る。
事務の対象 (誰(何)のために)	市内商店等の売り上げ増加、経済活性化のため
事務の概要 (具体的に何を)	イベント実行委員会との委託契約を行う。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費①	33,262,000円	32,069,000円	31,927,000円
人工	0.1人	0.1人	0.1人
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円
総事務費③(①+②)	33,969,298円	32,779,461円	32,645,991円
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	33,969,298円	32,779,461円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-1,189,837円	H29 総事務費③の対前年度比率	-3.50%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	委託料	観光行事委託料	32,069,000円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	イベント数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		13 件		13 件		12 件	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	主なイベントによる誘客数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		670,650 人		657,840 人		0 人	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度	平成29年度		平成30年度			
	2,613,023円	2,521,497円		2,720,499円			

●事業の終期

事務No. 26-040

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	不明
事務の終了時期が未定の場合の理由	各イベント実行委員会が独立採算で観光行事を行える見込みが立たないため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	3	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	1	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	2	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	2	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	0		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	市民ニーズとして求められているイベントがあるが、本来の目的である産業振興ができておらず、イベントを行うことが目的になってしまっている。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	同額の補助を続けることは実行委員会のあまえにつながるため、徐々に委託料を減少させ、実行委員会による効率的なイベント運営を期待する。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	既に民間委託を実施している。					
事務全体の課題	委託料を出しているイベントと出していないイベントがあり、平等性に欠ける。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	イベントの合同開催なども含めて、より誘客のできる事務内容へ見直す。
--------	-----------------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成するための市の方針を明確にし、目標を掲げ、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	26-044	事務内容	電気自動車充電スタンドに関すること				
総合計画施策コード	111	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	02目	大事業	09	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	電気自動車充電スタンド事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	電気自動車充電スタンドを設置することで、充電を理由に観光スポットに立ち寄ってもらうため
事務の対象 (誰(何)のために)	電気自動車を所持している観光客、運搬業者、市民のため
事務の概要 (具体的に何を)	<ul style="list-style-type: none"> ・電気料金の支払 ・充電料金の回収 ・充電に関する現場トラブルの対応（機械の故障で充電できない等）

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費 ①	101,242円	184,000円	242,000円
人 工	0.1人	0.1人	0.1人
人 件 費 ②	707,298円	710,461円	718,991円
総事務費③(①+②)	808,540円	894,461円	960,991円
総 財 源 内 費 の 内 訳 ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	808,540円	894,461円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	85,921円	H29 総事務費③の対前年度比率	10.63%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	H29に、道の駅にしお岡ノ山指定管理者が業務用に電気自動車を購入し、定期的に充電スタンドの利用を始めたため充電分の電気代が増加した。		
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	収入実績					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		19,600 円		44,400 円			
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
		41円		20円			

●事業の終期

事務No. 26-044

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	少ないとはいえ利用者はいるため、突如撤去を行うことはできず事業の縮小の方法を考える必要があるため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	3	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	2	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	3		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	2	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはなく、また、受益者負担の割合は適切か	2	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	2	
評価の総合的なコメント	今後電気自動車の所持率が上がっても、充電機を家庭で設置する時期が来る可能性を考慮すると、3か所設置場所が必要か検討した方が良い。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	維持管理費に対して、利用が少ない（電気自動車所有者のみに対象が絞られる）。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性						
事務全体の課題	事務自体は大変ではないが、機械の故障等で問い合わせがあっても、設置業者に連絡しなければ解決できないことが多い。また修理に数日かかるためその間は利用ができず、利用者に迷惑がかかってしまう。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成するための市の方針を明確にし、目標を掲げ、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	26-049	事務内容	土地の賃貸借に関すること				
総合計画施策コード	111	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	02目	大事業	02	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	観光施設維持管理事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	地域活性化のために誘客を図り、地元産業の発展を促す。
事務の対象 (誰(何)のために)	観光施設を訪れる市内外の人
事務の概要 (具体的に何を)	観光地及び駐車場確保のため、地主と借地契約を行う。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費①	4,401,245円	4,370,000円	4,388,000円
人工	0.1人	0.1人	0.1人
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円
総事務費③(①+②)	5,108,543円	5,080,461円	5,106,991円
財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	5,108,543円	5,080,461円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-28,082円	H29 総事務費③の対前年度比率	-0.55%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	委託料	観光用地借上料	4,369,735円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標						
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	委託金額					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		4,401,245	円	4,369,735	円	4,685,000	円
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		

●事業の終期

事務No. 26-049

事務の終了時期		事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	
事務の終了時期が未定の場合の理由			

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価		
	妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	3	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	1
ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		2	事務時間は適切なものになっているか		3	
課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		2	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか		2	
有効性		事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	2
		事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	2
		事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	0		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	1

評価の総合的なコメント	観光用地として必要な事務であり、欠かすことはできない。		
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。	
	(理由)	合併前の借上料を引き継いでおり、借上料に地域差が出ている。	
民間委託又は市民協働拡大の方向性			
事務全体の課題	合併前の借上料を引き継いでおり、借上料に地域差がでている。		

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	借地契約更新時に契約内容を見直す。
--------	-------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成するための目標を明確にし借地料の見直しを速やかに行うなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	26-051	事務内容	黄金堤用地買収に関すること				
総合計画施策コード	111	事務開始年度	平成29年度		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款 01項 02目	大事業	02	中事業		00	
事務事業名 (中事業名)	観光施設維持管理事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	黄金堤用地を買収する。
事務の対象 (誰(何)のために)	市民及び観光客のため。
事務の概要 (具体的に何を)	地権者との折衝、購入後の登記及び税の申請。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費①	0円	9,993,000円	0円
人工	0.0人	0.1人	0.0人
人件費②	0円	710,461円	0円
総事務費③(①+②)	0円	10,703,461円	0円
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	0円	9,829,443円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	10,703,461円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	用地購入	用地購入	9,829,443円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	借地を市有地とした。					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		0円		9,829,443円		0円	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	市有地の拡大。周辺の市有地と併せ一元管理がしやすくなった。					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		0円		9,829,443円		0円	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		0円		1円		0円	

●事業の終期

事務No. 26-051

事務の終了時期	平成29年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価	評価項目	評価
	評価		評価
妥当性	4	市が実施することが適当であるか	3
	3	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2
	0	課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	0
有効性	2	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	
	3	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	
	0	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	
評価の総合的なコメント	借地料の支払い業務の事務削減ができた。		
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。	
	(理由)	平成29年度で終了。	
民間委託又は市民協働拡大の方向性			
事務全体の課題			

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	当初の目的を達成した事務を終了することは評価できます。
----------	-----------------------------

西尾市事務評価シート

事務No.	26-054	事務内容	夏休みキャンペーンに関すること（主体は観光協会）				
総合計画施策コード	113	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	01目	大事業	01	中事業	99
事務事業名 (中事業名)	人件費 (一般職員(10人))						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	産業振興のために誘客をはかり、産業の活性化を促す
事務の対象 (誰(何)のために)	市外からの一般来場者
事務の概要 (具体的に何を)	観光協会が行う名鉄キャンペーンにおいて、同協会の必要に応じ意見を述べている。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	0円	0円	0円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	707,298円	710,461円	718,991円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	0円	0円	0円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	3,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.45%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	支出なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	観光協会事務のため無し					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	観光協会事務のため無し					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	

●事業の終期

事務No. 26-054

事務の終了時期		事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	
事務の終了時期が未定の場合の理由			

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価	
	妥当性	有効性		効率性	公平性		
評価	妥当性	市が実施することが適当であるか	2	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	妥当性	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2	効率性	事務時間は適切なものになっているか	4	
		課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	1		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	2	
	有効性	有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公平性	受益者に偏りはなく、また、受益者負担の割合は適切か	4
			事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4
			事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	0		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4
評価の総合的なコメント		民間主体で行われており、観光誘客としても有効である。市で関わる妥当性は低いが、成果が本市の目的と合致しているため、今後も持続すべきである。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。					
	(理由)	観光協会への補助事業に含まれるため、補助なしで事業が行えるようにしたい。					
民間委託又は市民協働拡大の方向性							
事務全体の課題		観光協会への補助事業に含まれているため、補助なしで事業が行えるようにする。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成するための目標を明確にし、限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	26-056	事務内容	わくわく西尾体験に関すること（主体は観光協会）				
総合計画施策コード	113	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	01目	大事業	01	中事業	99
事務事業名 (中事業名)	人件費 (一般職員(10人))						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	産業振興のために誘客をはかり、産業の活性化を促す。
事務の対象 (誰(何)のために)	市内外の一般市民
事務の概要 (具体的に何を)	中日新聞社主催の会議に出席し、情報を提供・共有する。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	0円	0円	0円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	707,298円	710,461円	718,991円	
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	707,298円	710,461円	
	その他()	0円	0円	
H29 総事務費③の対前年度差額	3,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.45%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	観光協会事務のため無し					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	観光協会事務のため無し					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	

●事業の終期

事務No. 26-056

事務の終了時期	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由	

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価		
	妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	2	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3
ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		2	事務時間は適切なものになっているか		4	
課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		1	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか		2	
有効性		事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4
		事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4
		事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	0		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3
評価の総合的なコメント	同事業に協力することで中日新聞社広告への掲載や協賛品の提供などを受けており、費用対効果としては良い。市で関わる妥当性は低い、成果があるため、今後も継続すべきである。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	冠がついているだけであり、事業（打ち合わせなどの会議）の必要性は乏しいが、成果があるため今後も継続する。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	民間委託は不可能である。					
事務全体の課題	冠がついているだけであり、事業（打ち合わせなどの会議）の必要性は乏しいが、成果があるため今後も継続する。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	事務内容を精査して対外的に説明できるようにするなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	26-060	事務内容	5者連携に関すること				
総合計画施策コード	134	事務開始年度	平成25年度		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	01目	大事業	01	中事業	99
事務事業名 (中事業名)	人件費 (一般職員 (10人))						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市内産業及び地域経済の活性化のため、西尾市におけるきめ細やかな産業振興に関する支援策を相互連携により取り組む
事務の対象 (誰(何)のために)	中小事業者及び創業希望者
事務の概要 (具体的に何を)	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援事業 ・人材育成支援事業 ・5者(西尾市・西尾商工会議所・一色町商工会・西尾みなみ商工会・西尾信用金庫)が実施する施策のPR

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	0円	0円	0円	
人 工	0.2人	0.2人	0.2人	
人 件 費 ②	1,414,597円	1,420,922円	1,437,982円	
総事務費③(①+②)	1,414,597円	1,420,922円	1,437,982円	
総 財 源 内 費 の 内 訳 ③	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	1,414,597円	1,420,922円	
	その他()	0円	0円	
H29 総事務費③の対前年度差額	6,325円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.45%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要		金 額
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	創業支援事業の開催日数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		11 日		10 日		10 日	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	受講後の創業者数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		7 人		2 人		2 人	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		128,600円		142,092円		143,798円	

●事業の終期

事務No. 26-060

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	地域経済の変化により、事務内容も変わってくると考えられるため		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	0	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	0	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	1		事務時間は適切なものになっているか	0	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	1		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	0	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	0	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か		
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	0		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か		
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	0		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか		
評価の総合的なコメント	現在、創業支援事業と5者が実施する施策のPRを行っている。5者で社会情勢にあった事業を検討していく必要がある。					
事務の方向性	(評価)	今後も、ほぼ現行どおり進める。				
	(理由)	引き続き、5者で連携し、事業の見直しや検討をして地域経済の活性化を図る				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	該当なし					
事務全体の課題	現時点で、創業支援事業と5者が実施する施策のPRを行っているが、今後も、社会情勢にあった事業を5者で検討していく必要がある					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	A市、B市、C市…一部事業のみ連携
---------------	-------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	現在、創業支援事業を中心に事業を行っているが、中小企業は人手不足、後継者不足が問題となっているため、今後、中小企業の事業継承についても取り組んでいきたい。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成するための目標を明確にし、限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	26-065	事務内容	事業創造・人材育成事業に関すること				
総合計画施策コード	151	事務開始年度	平成28年度		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款 01項 01目	大事業	10	中事業		00	
事務事業名 (中事業名)	()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	「産学金官」連携事業として、大学、地域金融機関と連携し、この地域で新たなビジネスモデルを創り、企業が自ら「稼ぐ力」を身につけるための事業展開を図る。
事務の対象 (誰(何)のために)	技術革新等への挑戦意欲を有する地元企業
事務の概要 (具体的に何を)	産学連携事業の実績で研究者一人当りの共同研究費受け入れ額が県内トップ(全国2位)の名古屋工業大学に事業委託した。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費①	18,200,000円	0円	0円
人工	0.2人	0.1人	0.0人
人件費②	1,414,597円	710,461円	0円
総事務費③(①+②)	19,614,597円	710,461円	0円
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	18,200,000円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	1,414,597円	710,461円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-18,904,136円	H29 総事務費③の対前年度比率	-96.38%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	29年度以降廃止のため		
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	事業創造人材育成プログラムの受講者数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		60人		0件		0件	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	各社が参画する連携組織の設立数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		0件		0件		0件	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度	平成29年度		平成30年度			
	326,910円	0円		0円			

●事業の終期

事務No. 26-065

事務の終了時期	平成29年3月	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価		
	妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか		1	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか
ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		3	事務時間は適切なものになっているか	3		
課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		1	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	1		
有効性		事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	1	公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	1
		事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	1		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	1
		事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	1		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	2
評価の総合的なコメント	共同開発するため、次世代の企業経営者の人材育成を行ったが、企業間のマッチングまでには至らなかった。					
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。				
	(理由)	異業種の複数の企業が連携して新事業を創出するには、単年では難しく費用も増大するため廃止とする。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	ノウハウを持っている大学に委託している。					
事務全体の課題	新事業創出には時間がかかり、費用もかかる。しかし、今後民間企業のみで行うとなると人的にも財源的にも弱い中小企業であると進まない。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	平成28年度で事業終了
--------	-------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	費用対効果が望めない事務を廃止したことは評価できます。
----------	-----------------------------

西尾市事務評価シート

事務No.	26-067	事務内容	生活学校に関すること				
総合計画施策コード	463	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	01目	大事業	03	中事業	02
事務事業名 (中事業名)	消費者行政推進事業 (消費者団体育成事業)						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	消費者団体の活動を通じて、消費者の意識向上を図るため。
事務の対象 (誰(何)のために)	消費者団体
事務の概要 (具体的に何を)	消費者団体の活動に対し、補助を行う。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費①	172,000円	140,000円	0円
人工	0.1人	0.1人	0.0人
人件費②	707,298円	710,461円	0円
総事務費③(①+②)	879,298円	850,461円	0円
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	172,000円	140,000円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-28,837円	H29 総事務費③の対前年度比率	-3.28%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	消費生活モニター	講習会・展示会	348,094円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	消費生活展の開催(1回)、消費者研修の参加					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		5円		6円		0円	

●事業の終期

事務No. 26-067

事務の終了時期	30.3.31	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価	
	妥当性	有効性		効率性	公平性		
評価	妥当性	市が実施することが適当であるか	0	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	0	
	妥当性	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	0	効率性	事務時間は適切なものになっているか	0	
		課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	0		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	0	
	有効性	有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	0	公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	
			事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	0		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	
			事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	0		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	
評価の総合的なコメント		自主運営に努めるよう指導。					
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。					
	(理由)	消費者団体の意識向上は評価できる。					
民間委託又は市民協働拡大の方向性							
事務全体の課題		平成29年度をもって解散。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	A市：165,000円、B市：230,000円
---------------	-------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	事務の廃止理由を明確にし周知するなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	--

西尾市事務評価シート

事務No.	26-073	事務内容	中小企業融資・信用保証協会に関すること				
総合計画施策コード	131	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	01目	大事業	06	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	商工業事業者融資事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市内中小企業者の経営の安定と振興を図るために、中小企業者が事業上必要とする運転・設備資金の融通を円滑にし、産業の振興を図る
事務の対象 (誰(何)のために)	市内中小企業者
事務の概要 (具体的に何を)	<ul style="list-style-type: none"> ・融資の受付、経由及び預託 ・中小企業信用保険法の規定に関する認定業務

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	450,000,000円	450,013,000円	450,000,000円	
人工	0.3人	0.3人	0.3人	
人件費②	2,121,896円	2,131,384円	2,156,973円	
総事務費③(①+②)	452,121,896円	452,144,384円	452,156,973円	
財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	452,121,896円	452,144,384円	452,156,973円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	22,488円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	貸付金	西尾市中小企業経営安定資金預託金	300,000,000円	
	貸付金	小規模企業等振興資金預託金	150,000,000円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	融資件数合計(小規模企業等振興資金、西尾市中小企業経営安定資金)					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		236	件	229	件	216	件
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	預託に対する達成率の平均(小規模企業等振興資金、西尾市中小企業経営安定資金)					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		59	%	67	%	76	%
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		1,915,771円		1,974,430円		2,093,319円	

●事業の終期

事務No. 26-073

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	小規模企業等振興資金及び中小企業信用保険法の規定に関する認定業務は県及び国の制度であるため		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	スコア		内容	スコア	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	3	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	2	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	2	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	1		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	2	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	2	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	1		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	1		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	金融機関と取引の薄い市内の中小規模の商工業者が、経営の振興のために必要とする事業資金の融通を円滑化するため、融資資金として金融機関に預託することで繁栄に寄与している。					
事務の方向性	(評価)	今後も、ほぼ現行どおり進める。				
	(理由)	市内の中小規模の商工業者の経営発展や業績改善のため、社会情勢に注視しながら引き続き現行どおり事業を実施する。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	該当しない					
事務全体の課題	常に経済状況を見きわめ、事業に対するニーズを把握する必要がある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	小規模企業等振興資金預託額 A市…200,000千円、B市…70,000千円、C市…100,000千円、D市…325,000千円、E市…100,000千円
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	過去3年間に融資実績のない金融機関については、訪問し、支店長又は金融担当者と面談を行い、融資の詳細を説明している。結果、融資につながり、中小商工業者の経営改善を図った。
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成するために効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	-------------------------------------

西尾市事務評価シート

事務No.	26-074	事務内容	信用保証料補助に関すること				
総合計画施策コード	131	事務開始年度	不明		担当課名	商工観光課	
予算科目	07款	01項	01目	大事業	06	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	商工業事業者融資事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市内中小企業者の金融取引の円滑化と事業の健全な発展のため、各種補助を通し、市内の中小企業者の必要とする運転・設備資金を融通し、産業の振興を図る
事務の対象 (誰(何)のために)	市内に事業所等を有する中小企業者
事務の概要 (具体的に何を)	信用保証料補助金(信用保証料の80%(マル西)または40%(振・振小)を補助、限度額20万円、百円未満切捨) 小規模事業者サポート補助金(政策金融公庫のマル経融資借入額の1%を補助、限度額20万円、百円未満切捨) 新規開業者応援補助金(政策金融公庫の新規開業者向け融資借入額の1%を補助、限度額20万円、百円未満切捨) 創業等支援資金信用保証料補助金(愛知県融資制度創業等支援資金の信用保証料額を100%補助、限度額20万円、百円未満切捨)

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費 ①	20,885,100円	20,374,000円	28,141,000円	
人 工	0.2人	0.2人	0.2人	
人 件 費 ②	1,414,597円	1,420,922円	1,437,982円	
総事務費③(①+②)	22,299,697円	21,794,922円	29,578,982円	
総 財 源 内 訳 ③ の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	22,299,697円	21,794,922円	29,578,982円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-504,775円	H29 総事務費③の対前年度比率	-2.26%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額	
	補助金	小規模企業等振興資金信用保証料補助金他	20,374,000円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	補助金申請件数合計 (小規模企業等振興資金、西尾市中小企業経営安定資金)					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	融資件数合計 (小規模企業等振興資金、西尾市中小企業経営安定資金)					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
	98,237円		101,372円		136,940円		

●事業の終期

事務No. 26-074

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成34年度
事務の終了時期が未定の場合の理由			

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	3	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	2	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	1		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	2	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	2	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	1		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	1		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	金融機関と取り引きの薄い市内の中小規模の商工業者が、経営の振興のために必要とする事業資金の融通を円滑化するため、信用保証料などの補助金を交付することや経済基盤の弱い創業者等の借入に対し補助することで繁栄に寄与している。					
事務の方向性	(評価)	今後も、ほぼ現行どおり進める。				
	(理由)	市内の中小規模の商工業者の経営発展や業績改善、金融取引の活性化のため、社会情勢に注視しながら引き続き現行どおり事業を実施する。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	該当しない					
事務全体の課題	常に経済状況を見きわめ、事業に対するニーズを把握する必要がある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	信用保証料補助件数合計 A市…369件、B市…181件、C市…121件、D市…35件、E市…403件
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	過去3年間に融資実績のない金融機関については、訪問し、支店長又は金融担当者との面談を行い、融資の詳細を説明している。結果、融資につながり、中小商工業者の経営改善を図った。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成するために効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	-------------------------------------